

宮城県農業農村整備事業等測量業務共通仕様書 新旧対照表 (令和6年10月)

(下線の部分は改定部分)

< 改定後 (令和6年10月) >	< 現 行 (令和5年10月) >	< 改定理由 >
<p style="text-align: center;"><b>条文</b></p> <p><b>第1条</b> [略]</p> <p><b>第2条 作業実施</b>            測量業務等は、宮城県の定める「宮城県農業農村整備事業等測量作業規程」(<u>令和6年5月17日付け国国地第37号国土交通大臣変更承認</u>) (以下「規程」という。)により実施するものとする。</p> <p><b>第3条 ～ 第31条</b> [略]</p> <p><b>第32条 安全等の確保</b></p> <p>1～5 [略]</p> <p>6 受注者は、屋外で行う測量業務等の実施に当たり、災害予防のため、次の各号に掲げる事項を厳守しなければならない。            (1)～(3) [略]  <u>(4) 受注者は、機械の適切な整備及び管理並びに作業安全に努めなければならない。</u></p> <p>7～9 [略]</p> <p><b>第33条 ～ 第37条</b> [略]</p> <p><b>第38条 保険加入の義務</b>            [略]</p> <p><u>2 受注者は、現場作業が発生する場合は、法定外の労災保険に付さなければならない。</u></p> <p><b>第39条 環境負荷低減への取組</b>  <u>受注者は、新たな環境負荷を与えることにならないよう、環境関係法令を遵守するとともに、以下の取組に努めるものとする。</u>  <u>(1) オフィスや車両・機械などの電気、燃料の使用状況の記録・保存や、不必要・非効率なエネルギー消費を行わない取組 (照明、空調のこまめな管理や、ウォームビズ・クールビズの励行、燃費効率の良い機械の利用等)</u>  <u>(2) プラスチック等の廃棄物の削減及び資源の再利用</u>  <u>(3) 環境負荷低減に配慮したものの調達</u>  <u>(4) 生物多様性に配慮した事業実施</u>  <u>(5) みどりの食料システム戦略の理解及び環境配慮の取組方針の策定や研修の実施</u></p> <p><b>第40条</b> [略]</p>	<p style="text-align: center;"><b>条文</b></p> <p><b>第1条</b> [略]</p> <p><b>第2条 作業実施</b>            測量業務等は、宮城県の定める「宮城県農業農村整備事業等測量作業規程」(<u>令和3年3月2日付け国国地第131号国土交通大臣変更承認</u>) (以下「規程」という。)により実施するものとする。</p> <p><b>第3条 ～ 第31条</b> [略]</p> <p><b>第32条 安全等の確保</b></p> <p>1～5 [略]</p> <p>6 受注者は、屋外で行う測量業務等の実施に当たり、災害予防のため、次の各号に掲げる事項を厳守しなければならない。            (1)～(3) [略]  <u>[新設]</u></p> <p>7～9 [略]</p> <p><b>第33条 ～ 第37条</b> [略]</p> <p><b>第38条 保険加入の義務</b>            [略]</p> <p><u>[新設]</u></p> <p><u>[新設]</u></p> <p><b>第39条</b> [略]</p>	<p><b>【県】</b>            ・県作業規程の国変更承認に伴う変更</p> <p><b>【国】</b>            ・農水省の共通仕様書の改定に伴う追加</p> <p><b>【国】</b>            ・農水省の共通仕様書の改定に伴う追加</p> <p><b>【国】</b>            ・農水省の共通仕様書の改定に伴う追加</p> <p><b>【国】</b>            ・農水省の共通仕様書の改定に伴う字句修正</p>